血液内科（必修）

１．到達目標

身体所見、検査データから血液疾患の診断を行い、病態生理、治療法を理解する。基本的な治療概念を理解し、化学療法・免疫療法による副作用とその対処法を修得する。移植治療、免疫細胞療法の位置づけについて理解する。

２．方略（LS）

（１）　一般外来診療：

ア　主訴、身体所見から血液疾患の有無について考察する。

イ　血液データに基づく血液疾患の分類、診断予測を行う。

ウ　鑑別疾患を列挙し、鑑別に必要な検査の種類を選択する。

エ　病態生理、治療導入の要否の説明を行う。

オ　治療法を列挙しそれぞれメリット、デメリットの説明を行う。

（２）　病棟診療：

ア　骨髄穿刺・中心静脈カテーテル留置・腰椎穿刺・末梢血管確保をする。

イ　急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、赤血球系疾患(溶血性貧血など)、血小板系疾患(免疫性血小板減少症など)といった遭遇する頻度の多い血液疾患の病態を理解、治療法について理解する。

ウ　フローサイトメトリー、染色体Ｇ－ＢＡＮＤ、ＦＩＳＨ、ＰＣＲ、次世代シーケンサーなど血液内科領域の細胞遺伝学的検査について理解する。

エ　疾患、治療法、予後、副作用につき患者へ説明する。

オ　移植治療、免疫細胞療法の適応について理解する。

カ　予後不良、終末期患者・その家族の心理、背景に配慮した関わり方ができる。

（３）　初期救急対応：

ア　骨髄穿刺をする。

イ　静脈ルート(末梢血管、中心静脈)を確保する。

ウ　鑑別に必要な検査項目を列挙し、検査結果を評価する。

エ　血液疾患の診断、病型分類する。

オ　各血液疾患の病態生理、治療法、治療成績、副作用、予後を患者へ説明する。

カ　移植治療、免疫細胞療法の適応について理解する。

キ　化学療法の効果判定を行う。

ク　化学療法の副作用を列挙し、化学療法後に発生した有害事象への適切な対応、管理法を身につける。

３．評価（Ev）

全科共通の評価表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて評価

４．週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
午後	病棟業務 病棟処置	病棟業務 病棟処置	病棟業務 病棟処置 血液ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	病棟業務 病棟処置	病棟業務 病棟処置